



株式会社 松屋フーズ

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-1-7
TEL：03(3904)1121(代)
http://www.matsuyafoods.co.jp

郵便はがき

1 7 7 8 7 9 0

料金受取人払

石神井局承認

5127

差出有効期間
平成18年6月
30日まで有効

切手不要

(受取人)

東京都練馬区下石神井4-1-7

株式会社松屋フーズ 総務部 行

(キリトリ)



個人情報保護のため氏名はご記入いただかなくて結構です。

住 所 (都道府県名)

(都・道・府・県)

性 別 男 ・ 女

年 齢 20代未満、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上

職 業 会社員、会社経営者・自営業、官公庁・団体職員、
専門職、主婦、無職、その他

株式投資歴 3年未満、3年以上10年未満、10年以上20年未満、
20年以上

該当する項目に○をお付けください。

株主メモ

決 算 期 毎年3月31日
定 時 株 主 総 会 毎年6月下旬
上 記 基 準 日 毎年3月31日
その他必要のあるときは、あらかじめ公
告して臨時に基準日を定めます。

配当金受領株主確定日
利 益 配 当 金 3月31日
中 間 配 当 金 9月30日
公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10
(電話照会先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(其他のご照会) ☎ 0120-176-417

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社
本店及び全国各支店

1単元の株式の数 100株

【お知らせ】
〈配当金の、銀行、郵便局の指定口座へのお振り込みのご案内〉
配当金をご指定の銀行または郵便局の口座に自動振込することがで
きます。詳しくは、上記、名義書換代理人、住友信託銀行のフリー
ダイヤル（其他のご照会）でご照会ください。

当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当
社のホームページ
http://www.matsuyafoods.co.jp/ir/index.html
に掲載いたしております。



古紙ハルプ配合率100%再生紙を使用



松屋

株式会社 松屋フーズ

第31期 中間事業報告書

2005年4月1日から2005年9月30日まで

[表紙写真](上から下へ)
・浦和所沢バイパス店・「新作 牛めし」
・北44条店・冷凍個食パック

Highlights

[単体決算ベース]

売上高

28,182
百万円

新規出店16店舗に加え、様々な商品販売及び販売促進策等を展開した結果、前年同期比105.2%を達成。

経常利益

1,787
百万円

F/Lコスト(売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は前年同期の65.7%から62.2%へと改善し、前年同期比1,391百万円プラスの1,787百万円を確保。

中間純利益

792
百万円

特別損失として、減損損失340百万円の他、店舗撤退損失等により、計570百万円を計上。特別利益として国庫補助金収入益(富士山工場建設に伴う富士宮市企業立地促進事業補助金)等により223百万円を計上。結果、前年同期比708百万円プラスの792百万円となった。

To Our Shareholders

米国産牛肉の輸入停止と大幅な増益を確保すること

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社2006年3月期中間期(第31期中間期)の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長
瓦 葺 利 夫



いう前年同期と変わらない環境下にかかわらず、とができました。

Q 当中間期の業績はいかがでしたか？

A 外食業界全体においては、米国でのBSE発生に伴う牛肉輸入停止措置が長引き、食肉価格の高止まり等の影響を受け、さらには業界を越えた競争が激化するなど、依然として厳しい経営環境下であります。

そのような環境下ではありますが、当社では「業界の覇者になる千載一遇のチャンス」と捉え、本年4月の「新生活応援セール」「角切りステーキ定食の販売」を皮切りに、9月8日の「新作 牛めし、新作 豚めしの販売」に至るまで、様々な商品販売及び販売促進策を積極的に展開して参りました。

結果、既存店売上高が、前年同期を下回りで推移したものの、新店16店舗の出店効果等もあり、上期売上高(単体ベース)は28,182百万円と前年同期比5.2%の増収となりました。

一方、原価面では「米」「野菜」の安定した市況価格に加え、高止まりで推移している食肉の調達につきましても、「海外調達の拡大」等により原価低減努力を行

った結果、前年同期32.6%の原価率に対し、1.8ポイント改善の30.8%となり、売上総利益率は69.2%となりました。

販管費率につきましても、店舗オペレーション能力の向上により「パート・アルバイト労働時間比率の引き上げ」「人時入客数の向上」等の成果が表れ、前年同期33.1%の人件費率に対し、1.7ポイント改善の31.4%となりました。販管費全体につきましても、前年同期66.1%の販管費率に対し、3.1ポイント改善の63.0%となりました。



↑9月8日登場
「新作 牛めし」

結果、当中間期の業績は営業利益で前年同期比1,408百万円プラスの1,757百万円、経常利益で前年同期比1,391百万円プラスの1,787百万円、中間純利益では、減損損失を特別損失として340百万円計上したものの、前年同期比708百万円プラスの792百万円と、米国産牛肉の輸入停止という、前年同期と変わらない環境下にかかわらず、大幅な増益となりました。



↑ナン・チキン付きスープカレー
←角切りステーキ定食

Q 当中間期の出店状況と今後の出店計画について教えてください。

A 当中間期は、新業態となるイタリア料理のトラットリア「REPINO(レピーノ)」、当社・富士山工場のお膝元であります静岡県・富士宮市役所店を含む16店舗を新規出店いたしました。

一方で、直営店9店舗につきましては撤退いたしましたので、2005年9月末日現在の店舗数は、672店舗(うちFC店11店舗、中国・青島ジャスコ店を除く)となりました。

また、既存店の改装においては18店舗実施(全面改装3店舗、一部改装15店舗)いたしました。そのひとつである「和定食の店 松屋」は、「極上黒豚ロースかつ定食」をはじめ、各種和食メニューを取り揃えた新業態「松乃家」として生まれ変わりました。

下期における出店ですが、新規出店44店舗(撤退5店舗)を計画しておりますので、今期末の総店舗数は711店舗になる見込みであります。その中には、490円の「ロースとんかつ定食」を主軸とした「とんかつ業態」の店舗も含まれております。「ロースとんかつ定食」は現在、チキン亭にて販売しておりますが大変ご好評いただいております。



Q 9月8日から販売開始した「新作 牛めし」の手ごたえはいかがですか？

A 2004年10月13日に中国産牛肉を使用した「本格派 牛めし」の販売からはや1年が経過いたしました。その間「よりおいしく、より安く」を求めて、日々商品のブラッシュアップを図って参りましたが、9月8日に「新作 牛めし」として、より「ふわふわ」で風味豊かな、かつ、お値打ち価格(並盛390円から350円へプライスダウン)で販売開始することができました。

「新作 豚めし」も同時に販売開始いたしました。販売以前と比べ入客数は増加し、両者を合算した出食比率も上昇しており、多くのお客様からご支持を得たものと思っております。



Q 下期における展望をお聞かせください。

A 9月30日から10月初めの1週間、「新作 牛めし」をより多くのお客様に味わっていただきたく、「秋の感謝セール第一弾」として「並盛280円」のキャンペーンを実施いたしましたところ、大変多くのお客様にご来店いただくことができました。

下期においては、特に「牛めし」に代表されるクイックメニュー(「牛めし」「豚めし」「カレー」類)のブラッシュアップにより、絶えず高水準の入客数を確保しつつ、常にお客様に新鮮な感動を与えることができる、お値打ち感のある新定食をご提案していきたいと考えております。

長引く米国産牛肉の輸入停止措置も、条件付きではありますが解禁の兆しが見えて参りました。これは、当社にとっての主要食材である食肉価格の低減に寄与するものと歓迎しております。

当社においては、解禁後の数量確保可能性、調達価格見通し、品質等を総合的に見極め、国際比較の中で臨機応変に対応していきたいと考えております。

下期におきましても、10月31日に発表いたしました通期業績予想(単体ベース:売上高58,070百万円、経常利益4,000百万円、当期純利益1,600百万円)を上回る結果を株主の皆様にご報告すべく、日々業務に邁進して参る所存でございますので、より一層のご指導、ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

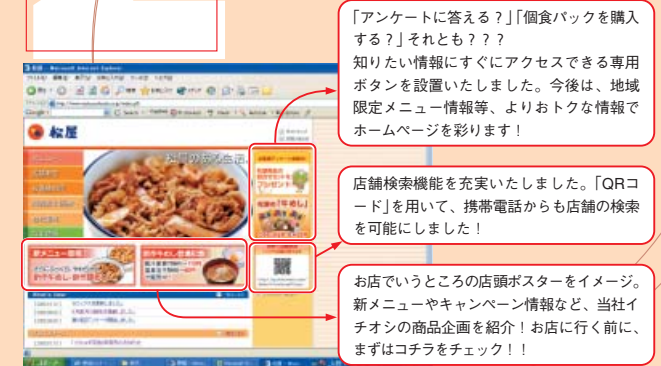
1 新業態、続々登場！

シェフがつくる窯焼きピッツァと南イタリアの地方料理をご提供いたしますトラットリア「REPINO(レピーノ)」。「和定食の店 松屋」をリニューアルし、「極上黒豚ロースかつ定食」をはじめ、肉・焼き魚・煮込みなど和食メニューを取り揃えた「松乃家」、静岡県・富士宮市役所内に市民・市職員を対象とした食堂「富士宮市役所店」のオープンと、当中間期に3つの新業態を立ち上げました！



2 当社ホームページのリニューアル

当社ホームページを全面リニューアルいたしました！ トップ画面から、主な特徴を紹介いたします！



3 「冷凍個食パック」好評発売中！

電子レンジかお湯で温めるだけで、松屋の味をご家庭でも簡単にお楽しみいただける、冷凍個食パック『牛めしの具』『豚めしの具』『スパイシーチキンカレー』を好評発売中！
下記電話番号にて承ります!!

フリーダイヤル：0120-127-230

携帯電話からの場合：03-5908-3387



受付時間：平日・土・日・祝日 10:00～18:00

インターネット(楽天市場)でもお申しいただけます。

<http://www.rakuten.co.jp/matsuya/>

MATSUYA FOODS STRATEGY

新松屋のメニューを紹介します。

秋のキャンペーン 第一弾

感謝
セール

「新作 牛めし」お試し価格キャンペーン!!

「本格派 牛めし」発売から約1年、調理方法やタレなどの改良を重ね、よりふっくらとやわらかな牛めしが完成いたしました!!

価格も「新作 牛めし」(並) 390円→350円、(大) 490円→450円 と、よりお値打ち価格にてご提供いたします。

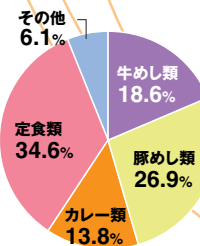
また、9月30日から一週間「秋の感謝セール」として、「牛めし(並) 280円」ほか、新作牛めし関連商品のセールを実施し、多くのお客様に生まれ変わった牛めしをご賞味いただきました!!



秋のキャンペーン 第二弾

「豚テキ定食」新発売&「定食ライス」おかわり無料!!

10月20日より、豚肉を「香ばしくて、ちょっぴり甘口のタレ」で焼き上げたボリューム満点の一品「豚テキ定食」が新登場!! あわせて10月20日から10月31日までの間、店内にて定食メニューをお召し上がりのお客様に「ライスのおかわり無料」キャンペーンを実施し、多くのお客様からご好評いただきました!!

2005年
4月21日
登場 「角切りステーキ定食」2005年
5月26日
登場 初夏のカレーウェーブ
「スープカレー」2005年
6月16日
登場 「麦とろ御膳」2005年
6月23日
登場 西日本限定
「冷やしうどん」2005年
7月14日
登場 「角切りステーキカレー」&
「牛しゃぶおろし定食」2005年
8月11日
登場 クール&スタミナフェスタ「和風ハンバーグ」&
「フライドチキンカレー」2005年
9月8日
登場 「新作牛めし」&「新作豚めし」2005年
9月8日
登場 「新作牛めしセット」
&「新作牛めしお新香セット」2005年
10月13日
登場 東日本限定
「プルコギ定食」2005年
10月20日
登場 トン
「豚テキ定食」

●牛めし定食店のメインメニューの出食数より算出(上期累計)。
●クイックメニュー(牛めし、豚めし、カレー類)の占める割合は59.3%となった。

当中間期は16店舗出店。
今後も店舗網を拡大して参ります。

当中間期は、新業態のイタリア料理「レビーノ」、静岡県・富士宮市役所内での食堂「富士宮市役所店」オープンを含め、新規に16店舗を出店(退店9店舗)した結果、2005年9月末日現在の総店舗数は672店舗(うちFC11店舗)となりました(中国・青島ジャスコ店を除く)。

また、「和定食の店 松屋」を全面リニューアルし、黒豚のロース肉を使った「極上黒豚ロースかつ定食」を中心に和食メニューを取り揃えた新業態「松乃家」に転換いたしました。

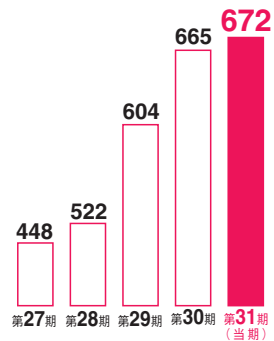
さらには、既存店18店舗の改装(全面改装3店舗、一部改装15店舗)も実施いたしました。

中国・九州圏
21店舗
うちビルイン店舗8店舗
ロードサイド店舗13店舗関西圏
88店舗
うちビルイン店舗62店舗
ロードサイド店舗26店舗東海・北陸圏
64店舗
うちビルイン店舗16店舗
ロードサイド店舗48店舗首都圏
437店舗
うちビルイン店舗366店舗
ロードサイド店舗71店舗北関東・甲信越圏
36店舗
うちビルイン店舗6店舗
ロードサイド店舗30店舗北海道・東北圏
26店舗
うちビルイン店舗10店舗
ロードサイド店舗16店舗

全国 672 店

うちビルイン店舗468店舗
ロードサイド店舗204店舗

北44条店(北海道)

店舗数の推移
(単位:店)

※各期末(第31期は中間期末)

静岡県・富士宮市役所店が
オープンいたしました。

2005年8月2日に、静岡県・富士宮市役所内に市民・市職員を対象とした食堂「富士宮市役所店」をオープンいたしました。当社「富士山工場」にて製造した日替わり手作り弁当や、富士宮市の掲げる「地食健身」を推進すべく、地元特産品を使用した弁当の販売も行っております。



岡山十日市店(岡山県)





財務データ

連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

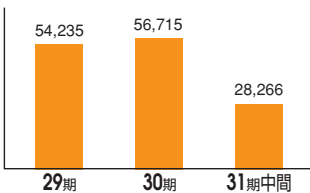
（単位：百万円）

資 産 の 部			
科 目	当中間期 平成17年9月30日現在	前中間期 平成16年9月30日現在	前 期 平成17年3月31日現在
流 動 資 産	10,067	7,428	11,098
固 定 資 産	38,086	37,891	39,392
有形固定資産	23,245	22,780	23,788
無形固定資産	288	225	249
投資その他の資産	14,551	14,885	15,354
資 産 合 計	48,153	45,320	50,491
負 債 の 部			
流 動 負 債	7,586	6,726	8,968
固 定 負 債	11,153	10,454	12,526
負 債 合 計	18,740	17,181	21,494
資 本 の 部			
資 本 金	6,655	6,655	6,655
資 本 剰 余 金	6,963	6,963	6,963
利 益 剰 余 金	15,802	14,528	15,387
その他有価証券 評価差額金	△1	△2	△2
自 己 株 式	△8	△6	△7
資 本 合 計	29,412	28,138	28,996
負 債 ・ 資 本 合 計	48,153	45,320	50,491

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

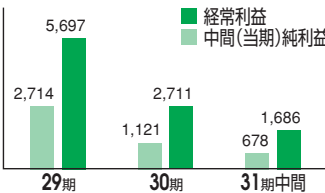
売上高

（単位：百万円）



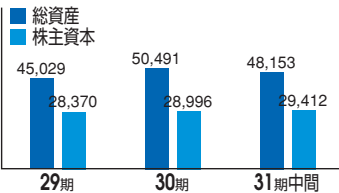
経常利益・中間(当期)純利益

（単位：百万円）



総資産・株主資本

（単位：百万円）



中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前 期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売 上 高	28,266	26,860	56,715
売 上 原 価	8,689	8,756	18,257
販売費及び一般管理費	17,821	17,617	35,654
営 業 利 益	1,754	487	2,802
営 業 外 収 益	116	114	263
営 業 外 費 用	185	163	354
経 常 利 益	1,686	438	2,711
特 別 利 益	224	28	113
特 別 損 失	534	179	507
税金等調整前中間(当期)純利益	1,376	287	2,317
法人税、住民税及び事業税	644	185	1,272
法人税等調整額	53	68	△75
中間(当期)純利益	678	33	1,121

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前 期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,599	△402	3,601
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,900	△4,651	△7,609
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,843	2,349	4,521
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少△)	△1,144	△2,704	513
V 現金及び現金同等物期首残高	4,784	4,270	4,270
VI 現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	3,639	1,566	4,784

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

グループ会社

（株）エム・ティ・テイ

店舗のトータルメンテナンス業務、厨房機器の販売及び給排水工事

（株）エム・エル・エス

従業員のユニフォームのクリーニング業務、リサイクル業務及び廃棄物回収業務

松屋フーズ開発（株）

新店候補物件の確保及び契約更新業務

（株）エム・エム・シー・エー

店舗従業員の教育、研修業務、並びに店舗での業務マニュアルの作成

（株）エム・ピー・アイ

松屋フーズグループ従業員の給与計算、福利厚生など人事関係の事務業務、及びシェアードサービス業務

松屋フーズ建設（株）

店舗の内装の設計・監理、改装に関わる店舗工事など

青島松屋快餐有限公司※

和風ファーストフード店の中華人民共和国国内における店舗運営

※非連結子会社で持分法非適用会社

単体財務諸表

中間単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

資 産 の 部			
科 目	当中間期 平成17年9月30日現在	前中間期 平成16年9月30日現在	前 期 平成17年3月31日現在
流 動 資 産	9,429	6,737	10,346
固 定 資 産	38,709	38,526	39,982
資 産 合 計	48,138	45,263	50,329
負 債 の 部			
流 動 負 債	7,533	6,677	8,897
固 定 負 債	11,136	10,431	12,503
負 債 合 計	18,670	17,109	21,400
資 本 の 部			
資 本 金	6,655	6,655	6,655
資 本 剰 余 金	6,963	6,963	6,963
利 益 剰 余 金	15,858	14,543	15,319
その他有価証券 評価差額金	△1	△2	△2
自 己 株 式	△8	△6	△7
資 本 合 計	29,468	28,153	28,928
負 債 ・ 資 本 合 計	48,138	45,263	50,329

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

中間単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前 期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売 上 高	28,182	26,793	56,585
売 上 原 価	8,672	8,737	18,223
販売費及び一般管理費	17,753	17,707	35,815
営 業 利 益	1,757	349	2,545
営 業 外 収 益	247	241	431
営 業 外 費 用	218	194	419
経 常 利 益	1,787	395	2,557
特 別 利 益	223	31	108
特 別 損 失	570	191	542
税引前中間(当期)純利益	1,440	236	2,123
法人税、住民税及び事業税	608	112	1,132
法人税等調整額	39	39	△98
中間(当期)純利益	792	84	1,089
前期繰越利益	535	628	628
中間配当額	—	—	228
中間(当期)未処分利益	1,328	713	1,488

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

株式の状況・会社概要

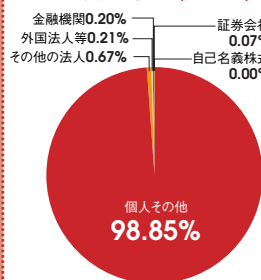
●株式の状況 (2005年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	22,831名

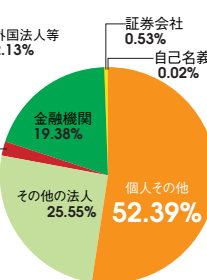
●大株主（上位10名）

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数 (株)	出 資 比 率 (%)
瓦 葺 利 夫	4,442,500	23.30
有 限 会 社 ティ ケ イ ケ イ	2,729,441	14.32
有 限 会 社 ト ウ イ ール	2,000,000	10.49
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	839,600	4.40
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	780,000	4.09
瓦 葺 一 利	753,500	3.95
瓦 葺 香	649,372	3.41
商 工 組 合 中 央 金 庫	518,400	2.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社（三井アセット信託銀行再信託分・ 株式会社三井住友銀行退職給付信託口）	311,000	1.63
資産管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口)	256,200	1.34

所有者別状況（株主数）



所有者別状況（株式数）



●会社概要 (2005年9月30日現在)

設 立	1980年1月16日
資 本 金	6,655,932千円
代表取締役社長	瓦葺利夫
従 業 員 数	1,047名
売 上 高	565億円（第30期実績）
本 社	東京都練馬区下石神井4丁目1番7号
工 場	嵐 山：埼玉県比企郡嵐山町花見台4番3号 富士山：静岡県富士宮市大字北山字峯4242番4号
店 舗	672店（直営661店、FC11店） ※「青島ジャスコ店」を除く
事 業 内 容	・牛めし定食店のチェーン ・チキン亭事業、ラーメン事業 ほか ・フランチャイズ加盟店への食材等の販売及び 経営指導

●役員一覧 (2005年9月30日現在)

代表取締役社長	かわら 瓦 葺 利 夫	常 勤 監 査 役	ひら 平 田 保 幸
専 務 取 締 役	うい 瓦 葺 一 利	監 査 役	ふじ 藤 本 清 洲
常 務 取 締 役	くろ 黒 木 幹 生	監 査 役	はま 濱 田 敏
取 締 役	その 馬 目 瑞 雄		
取 締 役	さくら 桜 小 倉 鉄 生		
取 締 役	お 小 倉 鉄 生		
取 締 役	佐 藤 雅 敏		

アンケート結果報告

第30期事業報告書のアンケートでは、1,232名の株主の皆様からご回答をいただきました。

Q. 地方の店舗ではドライブスルー設置店舗を見かけるようになりましたが、何店舗ほどあるのでしょうか？

A. 「利便性」をハード面から強化したドライブスルー設置店は、2005年9月末日時点において全国77店舗になり、ロードサイド店舗204店舗のうち38%を占めております。ちなみに、今期上期出店16店舗のうち、6店舗がロードサイド店舗でしたが、全てドライブスルーを設置しております。

株主優待制度の一部変更のお知らせ

2007年3月期（来期・第32期）より、従来の「毎年9月30日及び3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された所有株式数100株以上の株主様に対し、株主様お食事ご優待券（以下、ご優待券）を一律で10枚贈呈」から「毎年3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された所有株式数100株以上の株主様に対し、ご優待券を一律で10枚贈呈」と変更させていただきます（年間2回発行から年間1回発行へ変更）。

なお、変更時期は、2006年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主様から適用といたします（2006年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主様へのご優待券の贈呈はございません）。

それに伴いまして、ご優待券の有効期限は、2006年3月31日現在の株主様へのご送付分からは、翌年6月30日までといたします。「弊社製品詰め合わせセット」へのお引き換えをご希望の株主様につきましても、翌年6月中に弊社までご返送いただいた分までを対象といたします。



【アンケートに関するお願い】

当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。ご協力お願いいたします。



株主の皆様へアンケートのお願い

1. 弊社の株式をどの位の期間保有されていますか。
a. 10年以上 b. 7年～10年 c. 5年～7年 d. 3年～5年
e. 1年～3年 f. 1年未満

2. 今後の弊社株式についてどのような方針をお持ちですか。
また、上記方針を決定するための判断材料は何ですか。（複数回答可）
a. 株価 b. 配当 c. 将来計画 d. 業績
e. その他（ ）

3. IR情報の提供手段としてどのようなものを希望されますか。
a. 株主通信 b. 投資家説明会 c. インターネットホームページ
d. IR広告 e. その他（ ）

4. 今回の事業報告書で興味をもっていただいた内容は何ですか。
a. 社長インタビュー b. トピックス c. 事業戦略
d. 財務データ
e. その他（ ）

5. 巻頭の社長インタビューの中で、興味をもっていただいた内容は
何ですか。
a. 当中間期の業績について
b. 当中間期の出店状況と今後の出店計画について
c. 「新作 牛めし」について
d. 下期の展望について
e. その他、ご意見があればお聞かせください。
（ ）

6. 事業報告書で掲載ご希望のテーマ、当社へのご意見ご要望を
お聞かせください。
（ ）

ご協力有難うございました。